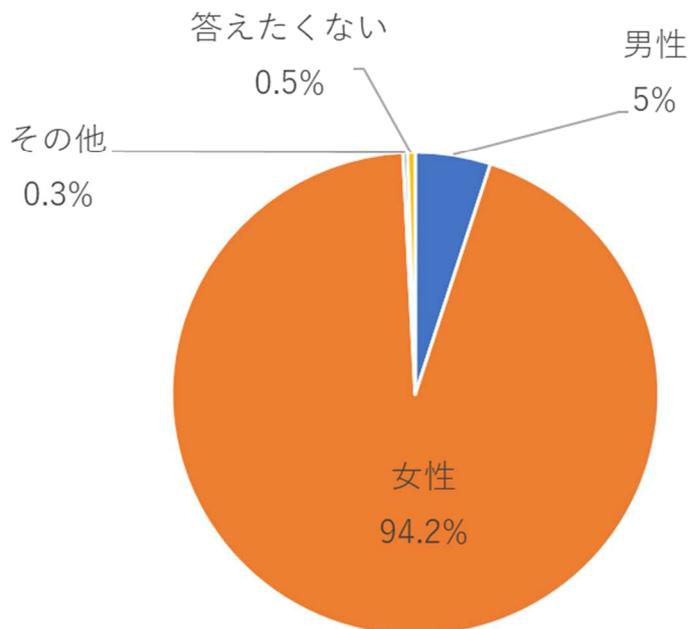


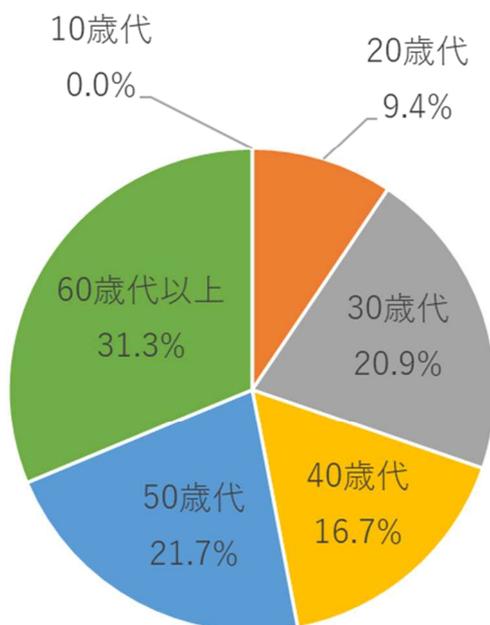
問1 性別

単一回答



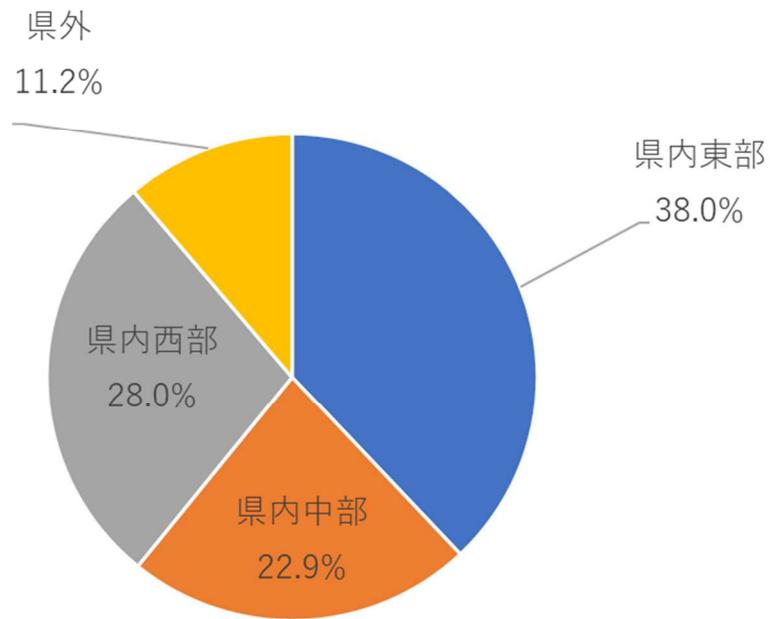
問2 年齢

単一回答



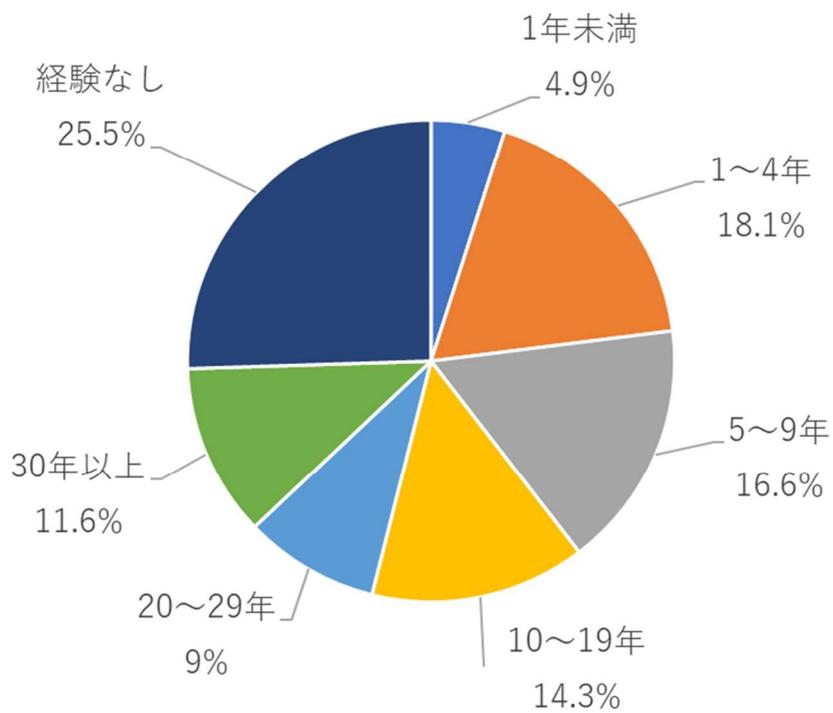
問3 お住まい

単一回答



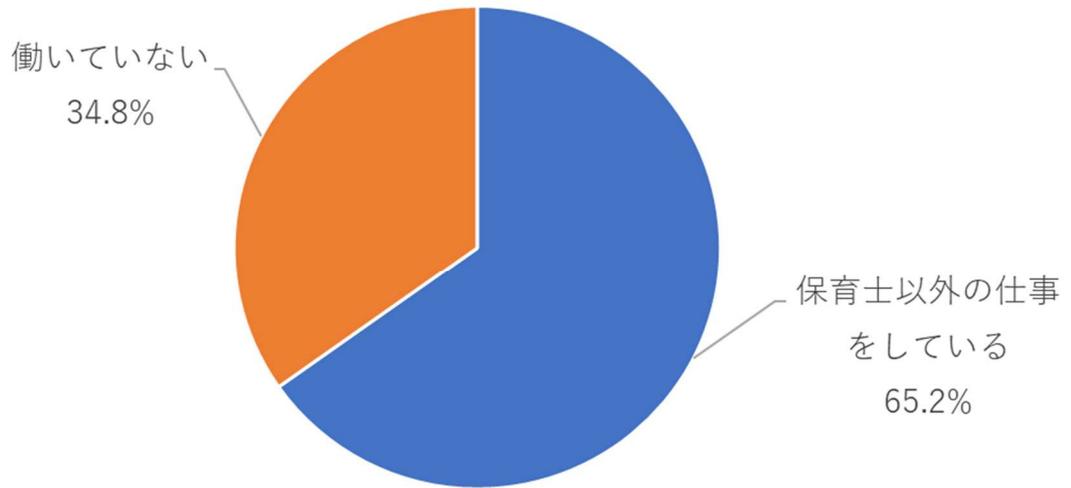
問4 保育士としての経験年数

単一回答



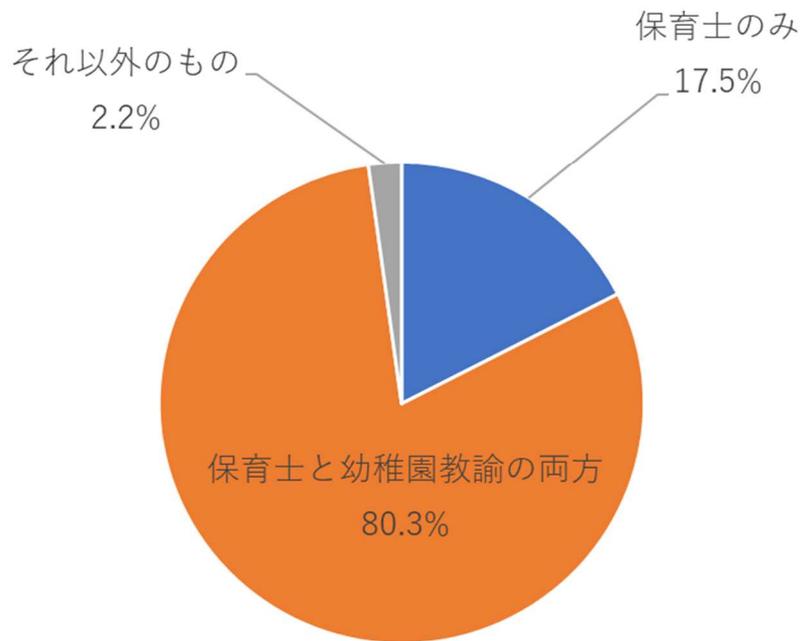
問5 現在の状況

単一回答



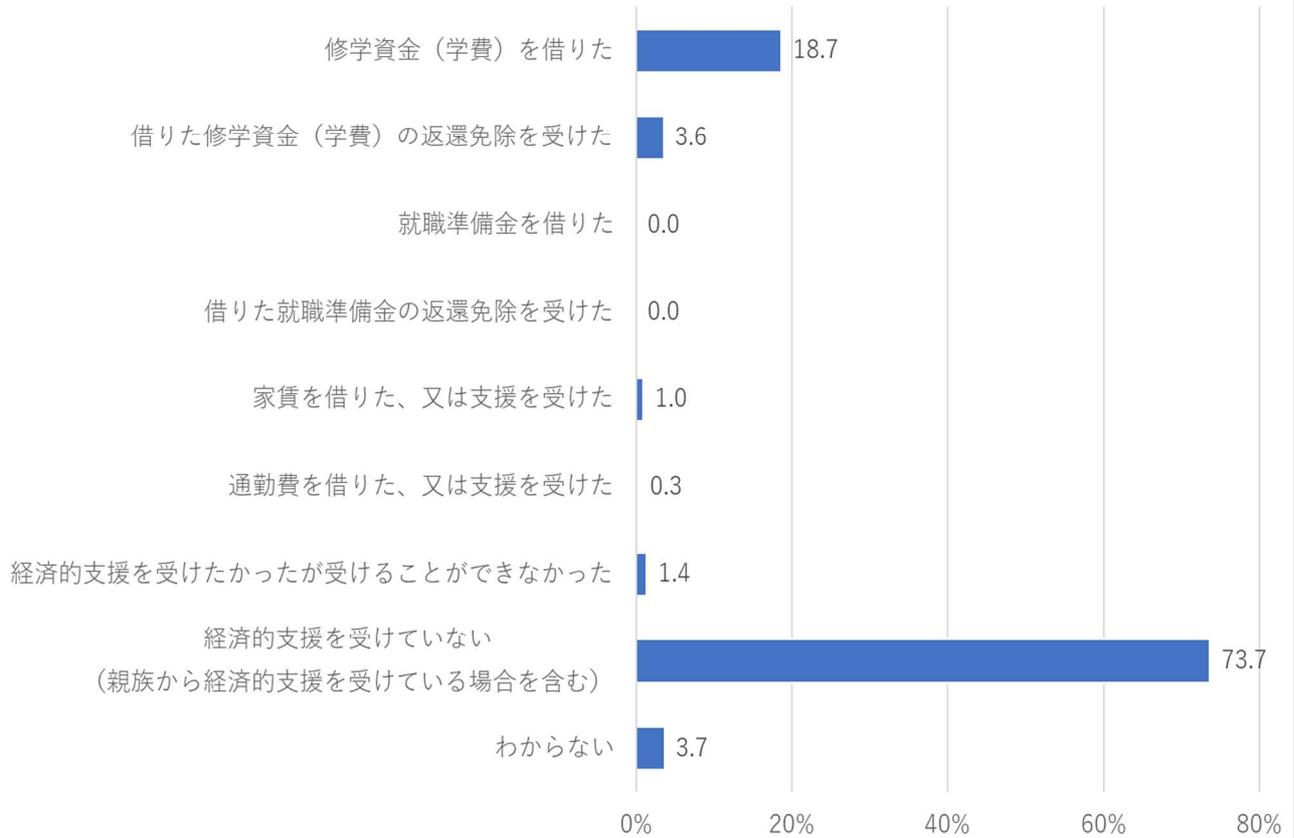
問6 取得した免許

単一回答



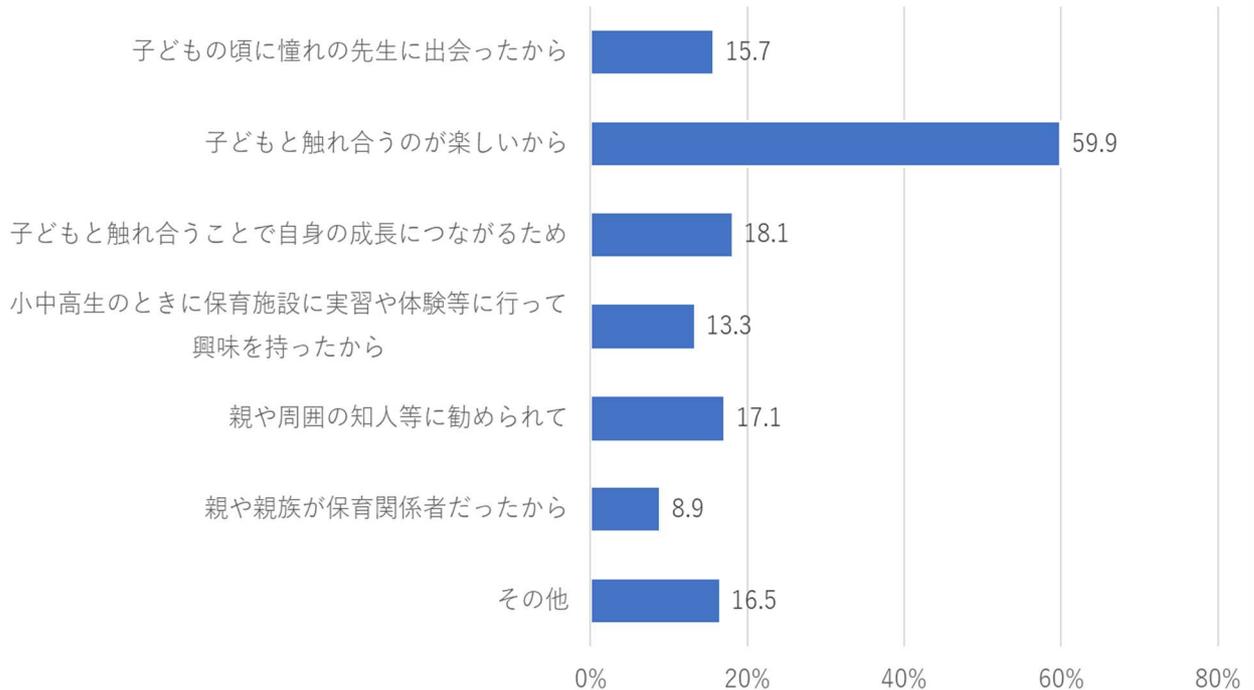
問7 資格取得費用に対する公的な経済的支援

複数回答可



問8 保育士を目指したきっかけ

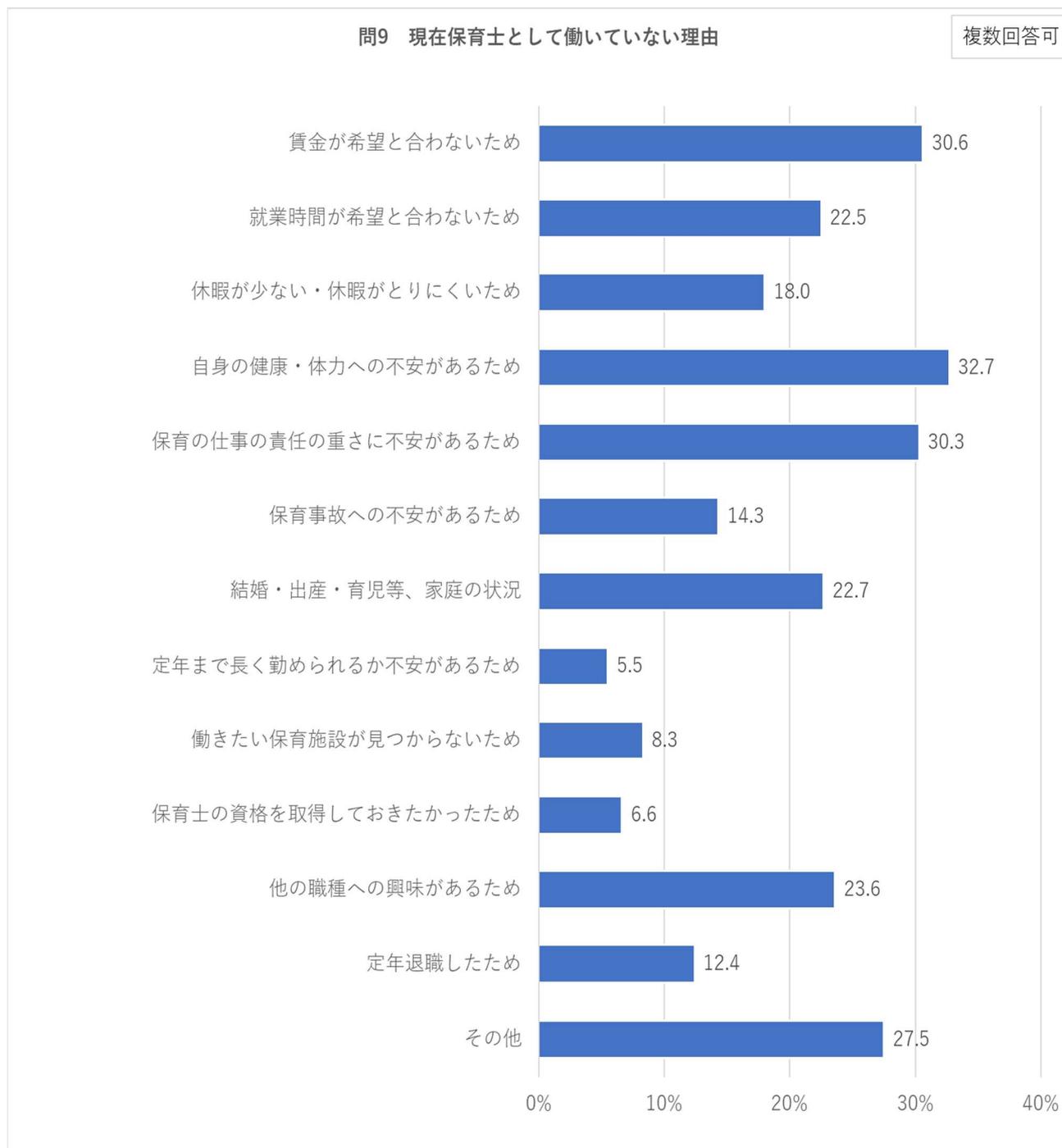
複数回答可



令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査 調査結果詳細（潜在保育士）

問8 その他の意見（抜粋）

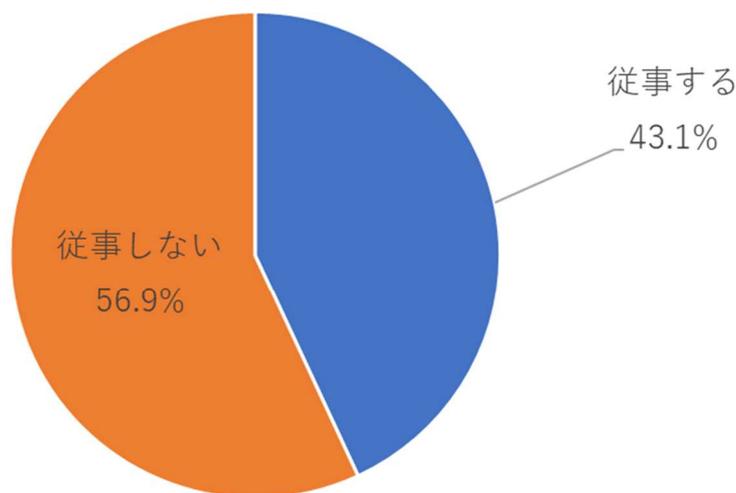
性別	年齢	経験年数	意見
女性	50歳代	20～29年	子どもの頃からの夢だったため。
女性	50歳代	0年	子育てを通して学んだことを資格という形にしたかった。
女性	30歳代	5～9年	小児・新生児に関わる看護師としてスキルアップのため。
女性	60歳代	20～29年	保護者の立場で園行事に参加し、協力する中で、保育士の仕事に憧れを持ち資格をとりました。
女性	40歳代	0年	幼稚園にボランティアに行っており、もっと学びを深めたかったため。
女性	30歳代	0年	オープンキャンパスで興味をもったから。
女性	20歳代	0年	将来子どもを産んで子育てする時、知識として身につけておきたいから。



問9 その他の意見（抜粋）

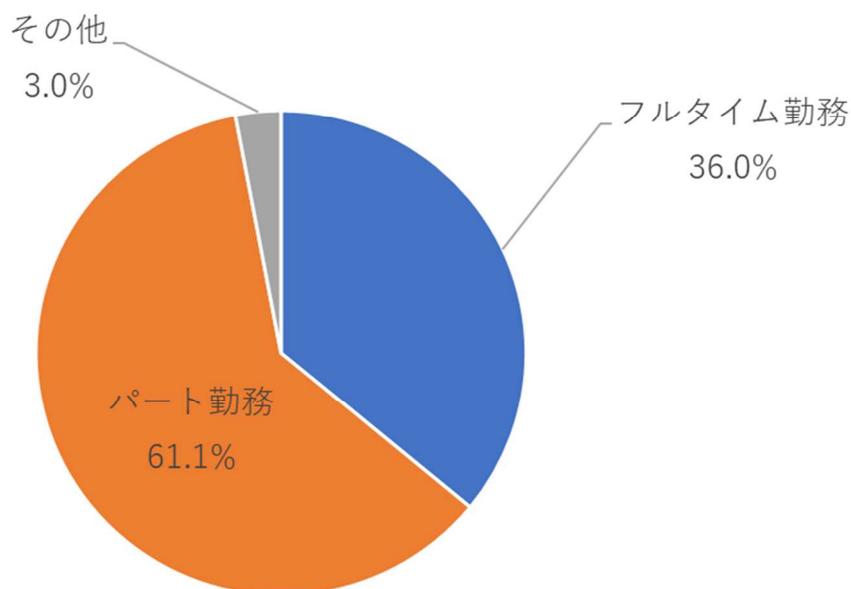
性別	年齢	経験年数	意見
女性	50歳代	10～19年	パワハラにあつて心身共に限界を超えたため。
女性	20歳代	0年	サービス残業が多いため。
女性	50歳代	10～19年	色々な感染症が次々と発生し、自分の目標とする保育が充分にできないため。
女性	30歳代	0年	女性保育士のための現場の雰囲気（男性保育士がいる実習先と女性保育士のための実習先では全然違いました。）
女性	40歳代	5～9年	保護者対応の大変さ、行事でずっと監視される。してはいけないことを子どもに注意すると、園での状況を知らない中でこちらに人格的に問題があるのではとクレームをノートに書かれる。上司も同僚も「謝って下さい」だけで状況説明もフォローも無かった。休憩時間がノートの記入、片付け、準備など。長年メンバーが変わらず固定した職員の間人関係の中で働きづらい。年配世代からの風当たりがキツイ。相談する所がない。改善されるまで時間がかかる。
男性	30歳代	10～19年	保育士を守ってくれる事業所がない。
女性	20歳代	5～9年	サービス残業が月40時間を超える。休憩が長くて1日20分取れない日もある。休憩中、外出ができない。職員の配置基準にそもそも無理があるにも関わらず、保育のニーズは多様化し、より質の高さを求められる。従来の配置基準で保育の質が保障できるはずがない。毎日大きな事故が起こらないのが奇跡。
男性	20歳代	1～4年	保育士の給料を頑なに上げない自治体にあきれたから。
女性	30歳代	10～19年	早番、遅番をしないとある程度の賃金がもらえないが、パートは低賃金となり、働き方に悩む。また、ここ最近の不適切保育のニュースを見て、また保育士をするのか簡単に決断ができない。責任を1人で背負うイメージ。子どもたちが怪我なく安全に過ごす為には、保育士は1人当たり子どもを見る人数を減らすか、保育士を増やしてほしい。

問10 問9の選択理由が改善されたら保育士として従事するか 単一回答



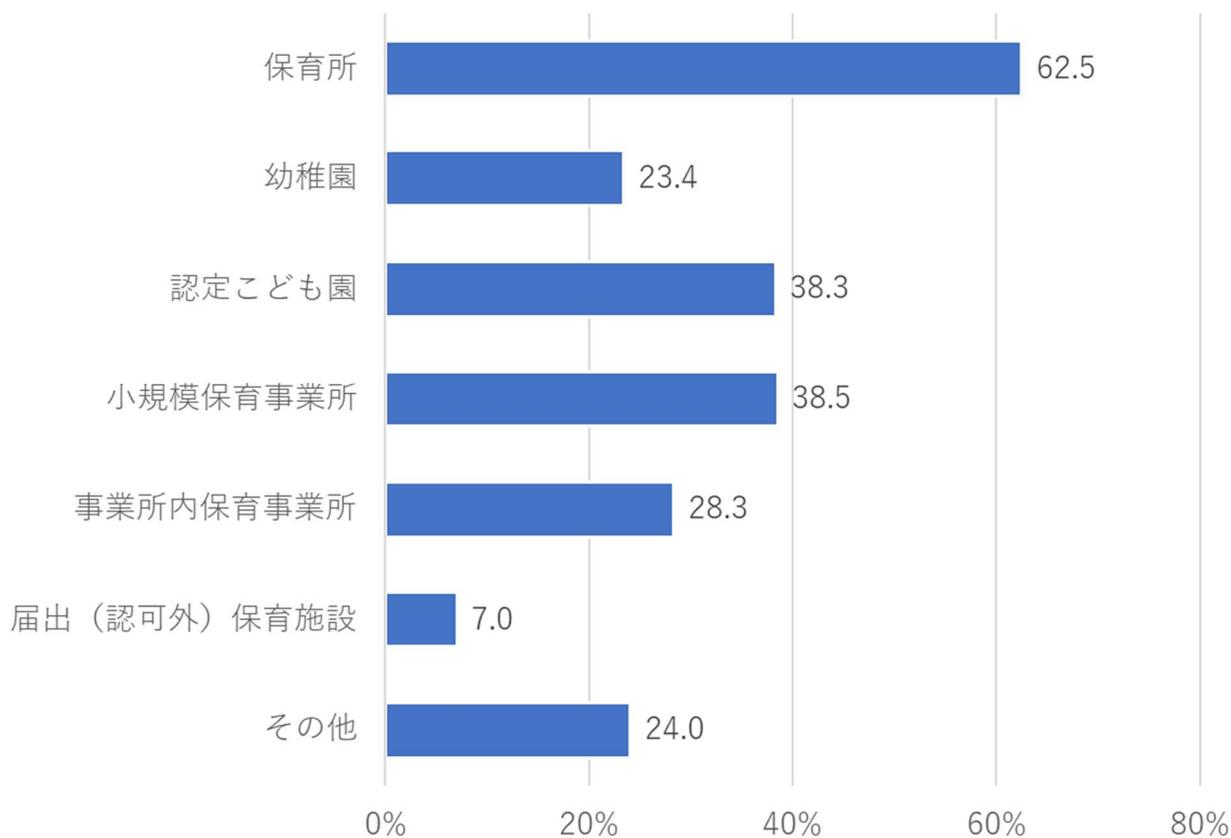
問11 問10①≫希望の勤務形態

単一回答



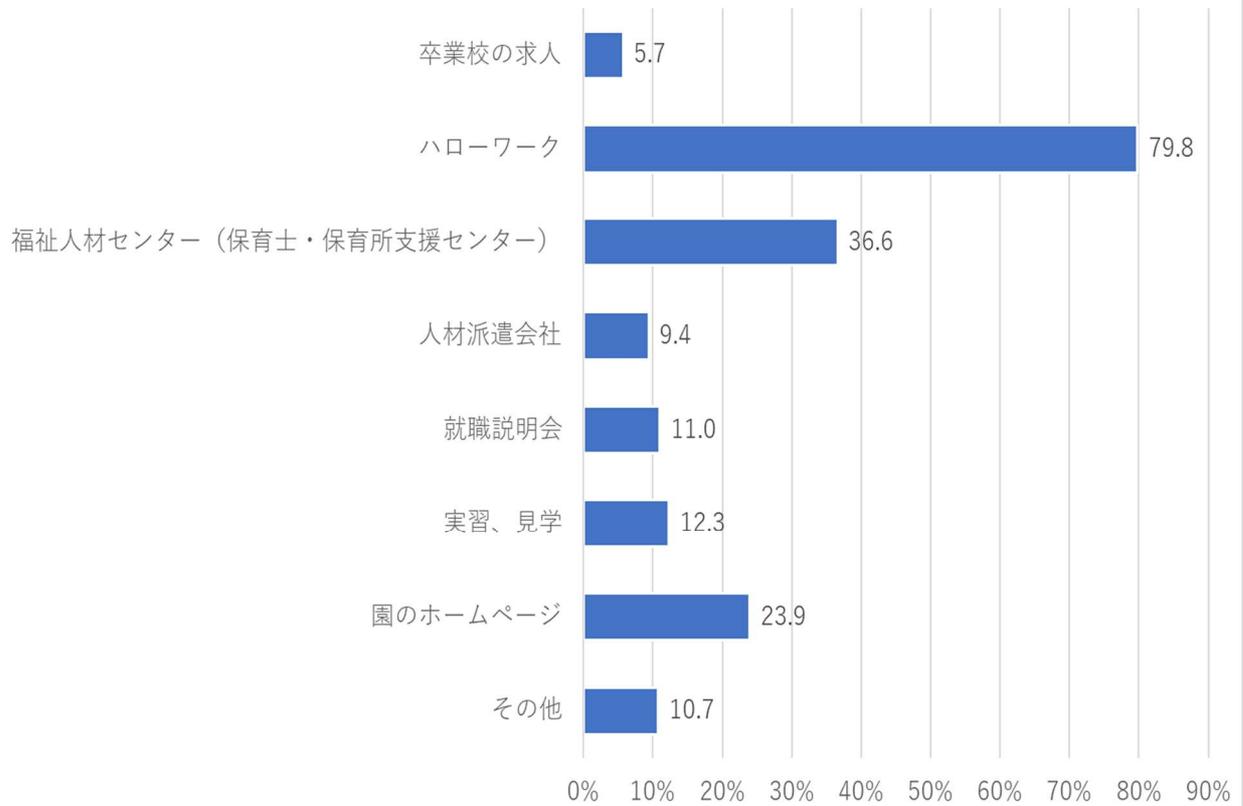
問12 就職を希望する保育関連施設

複数回答可



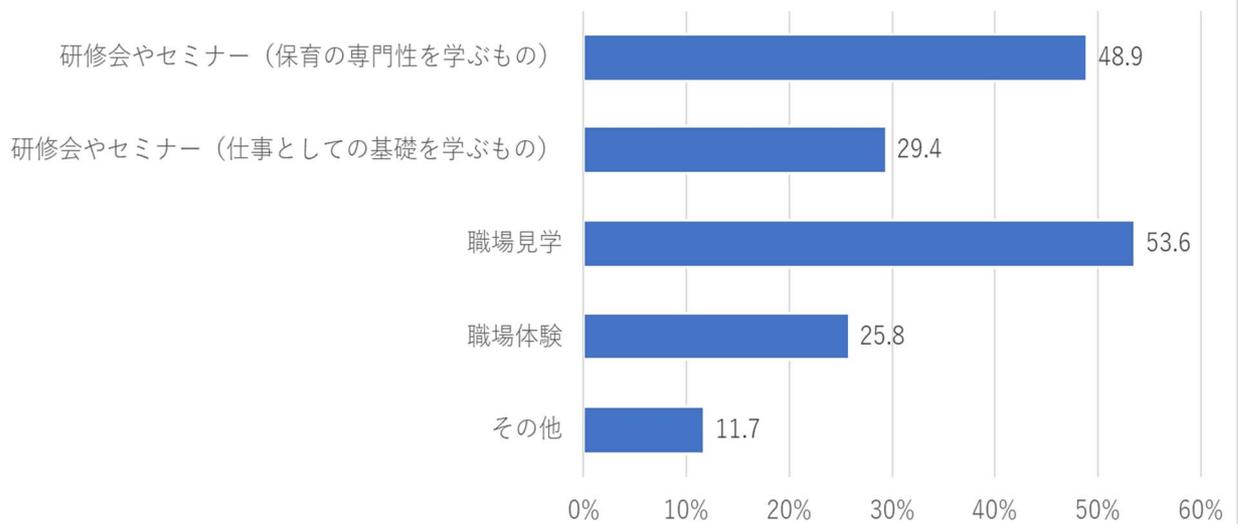
問13 就職情報の取得方法として希望する項目

複数回答可



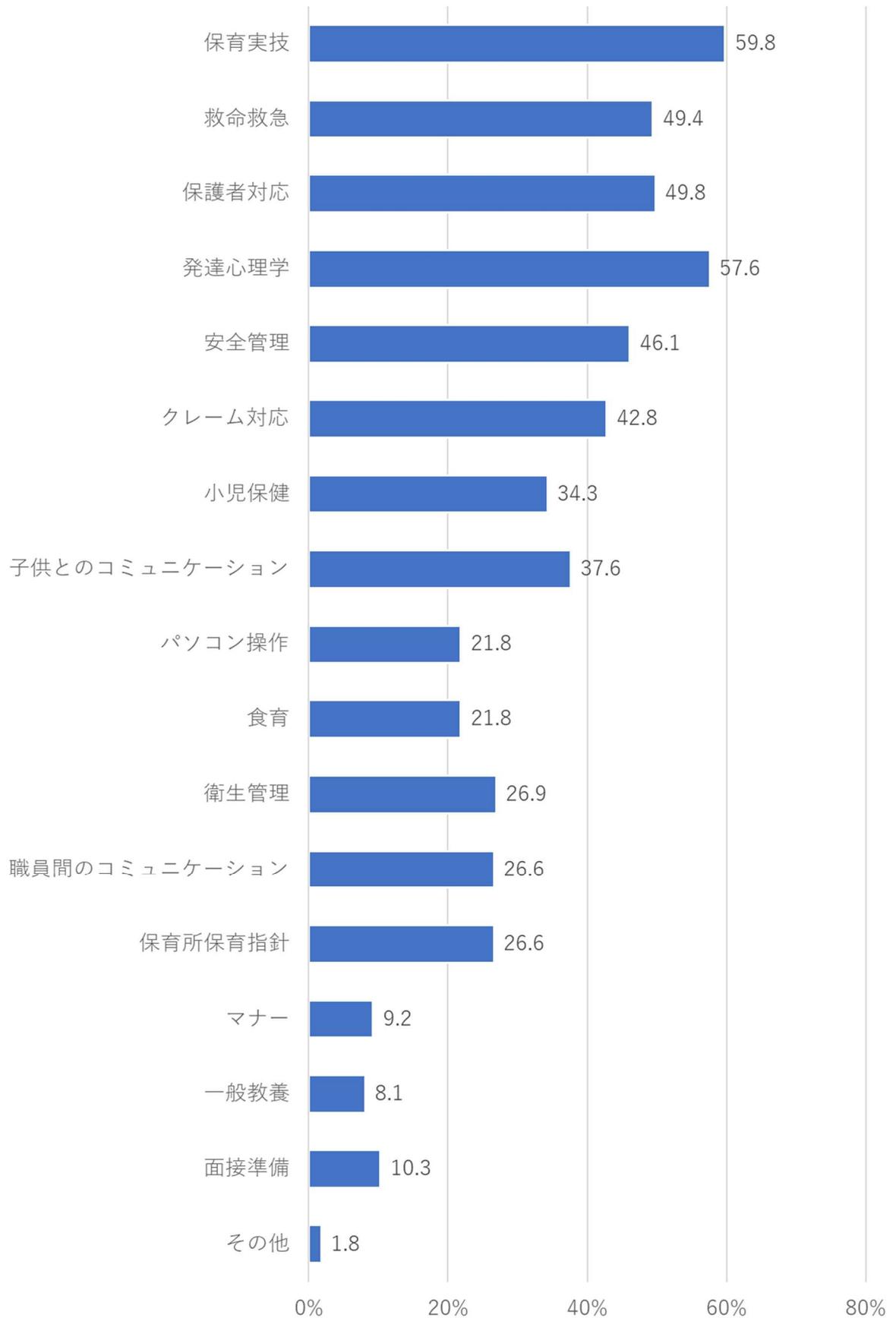
問14 復職に向けて参加したいもの

複数回答可



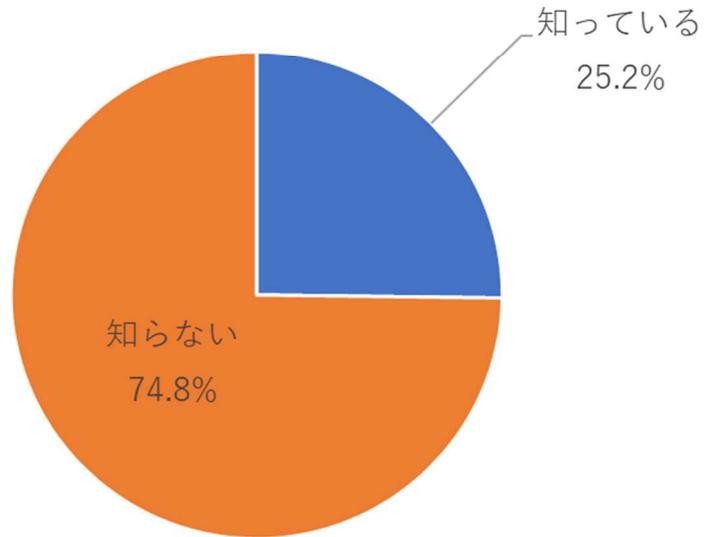
問15 問14①②≫希望の研修内容

複数回答可



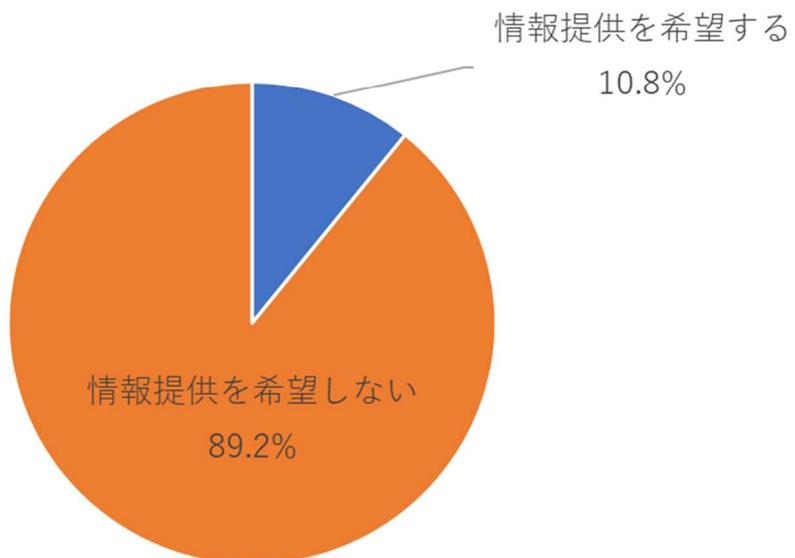
問16 「保育士・保育所支援センター」を知っているか

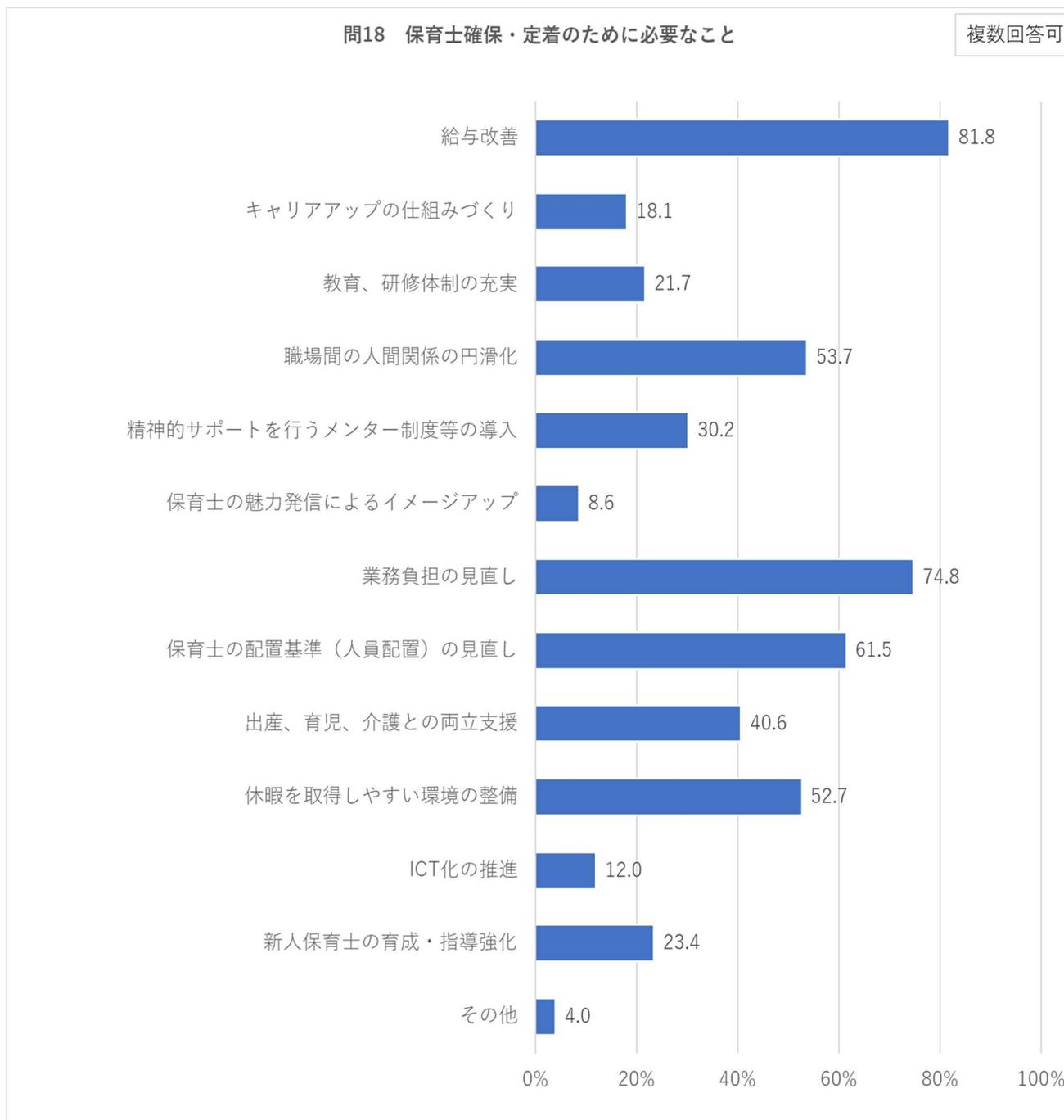
単一回答



問17 県や市町村からの情報提供の可否

単一回答





問18 その他の意見（抜粋）

性別	年齢	経験年数	意見
女性	40歳代	1～4年	保育士間のいじめの改善。
女性	60歳代	10～19年	保育士の地位の向上。
女性	40歳代	20～29年	何でも保育所に任せようとする世間の考えを改める必要がある。
女性	50歳代	0年	資格を持っていない方の保育参加を進めてほしい。
女性	50歳代	5～9年	正規職員を増やす。
女性	60歳代	30年以上	乳幼児を保育・教育する物的、人的な環境がどれほど大切で命に係わる重要なものであるかを市町村、国のトップの方に実体験を通して理解していただきたい。
女性	60歳代	30年以上	憧れたり、理想と思える先輩保育士の存在。

令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査 調査結果詳細（潜在保育士）

問19 その他、保育人材確保・定着に関する自由意見（抜粋）

性別	年代	経験年数	意見
女性	30歳代	5～9年	仕事内容は大変で勤務時間もバラバラだったので、子育てしながらの仕事は難しかった。それなのに他の専門職よりも給与が低く、休みにくくて、戻りたいと思っはいるが、不安しかない。人も少ないので休みにくい。人間関係を円滑にとり持ってくれる人はいなかった。大好きな仕事だが続けられるかはわからない。
女性	60歳代	20～29年	新規採用の正職の保育士の研修は、3月末までに済ませてほしい。4月の保育現場を知っていれば、4月に職員が研修のために抜けたクラスがどんなに大変かわかるはず。最低基準の見直しを国に働きかけてほしい。0歳児は3対1など、何十年前に決められた基準に従っているのはおかしい。パートさんの意識は低く、クラスに配置されても「命を守る」という意識が低い。やはり担任を増やすべき。現職の保育士にもたくさん研修を受けてほしいが、保育士が休むとその日のクラスが大変になってしまう。
女性	60歳代	30年以上	小中高生の保育施設でも実習や体験の機会を増やす。保育現場に興味を持ってもらう。新人職員の育成を十分行えるシステム（まずは人員配置の増）の改善。
女性	20歳代	5～9年	業務負担が当たり前とされている業界です。このアンケートが活かされ、現職の皆さんの負担が少しでも軽減されることを願います。
女性	40歳代	1～4年	職場が職員を大切にする職場であってほしい。時間外の仕事も多く、それが給与に反映されていない。女性だらけの職場なので、感情的な人が多いところも大変。休暇は非常に取りにくい。年休取ろうとしても、そのサポートフォローが必要。休暇を取りやすい環境にするために、管理職へ指導をお願いしたい。
女性	20歳代	1～4年	若い人ができないのは当たり前、それを上司が育てるものなのに、辞めたいと思わせるのは違うと思う。
女性	50歳代	10～19年	市の臨時保育士をしていたが、担任を任せられ、業務内容は正職員とほとんど変わりなかった。そもそも臨時で担任を持つことは大変責任が重く、給料にともなわない。仕事内容は大変重労働である。コロナ感染、色々な病気が次々と発生する中、現在働いている保育士の大変さが目に見えるようである。
女性	40歳代	0年	問18、特に該当すると思う項目をチェックしましたが、全て必要だと思います。私は現在、保育関係として仕事をしておりませんが、親（保育関係）より、保育士は大変（自分の家庭を犠牲にするのでやめときなさい）と言われました。改善とは、現に働いている人達が満足感を得たり、実感できて、初めて改善になると思います。
女性	60歳代	20～29年	仕事内容に対する給与額の改善。発達障害を持つ子ども達に対応できる加配保育士の配置のあり方。この頃すぐに虐待という言葉が耳にしますが、保育士一人ひとり虐待という意味の取り方が違うと思います。どんな場面で、どんなことが保育指導で、どんなことが虐待なのか、ある程度はっきりとした見極めがないと保育士一人ひとりが自信を持って保育できないと思います。保護者とトラブルになった時に保育士側に落ち度がない場合、必ず味方になって守ることが必要。
女性	60歳代	30年以上	近年、個別の支援が必要なお子さんが増加し、保育士の配置基準では保育士の労働の負担・精神的苦痛が大きくなっている。配置基準プラスαの保育士が必要だと思う。時間外保育士とか休憩代替保育士、研修代替保育士、休暇代替保育士等、プラスαの保育士の配置を希望します。保育士は子守りではありません。教育も行っているのです。ゆとりある保育を行うために配置基準の検討をお願いしたいです。
女性	40歳代	10～19年	必要とされる書類が多く事務量が多い。加えて雑務等も多い。行事の準備、壁面飾りなどもあり、保育にもっと専念できる環境になれば復職する人も多いと思う。色々な対応で帰れず、サービス残業となることもしばしば。定時で帰りにくい職業だと思う。
女性	30歳代	1～4年	全国的に保育士の給与改善を試みているようですが、実際現場で働いている現役保育士からは、給与面での変化は感じないという声がほとんどです。主任や保育リーダーの給与は上がっているが、役職がない保育士の給与に変わりはないと聞きます。また、保育士1人で子ども数名を見ているので、保護者の要望に応えたくても対応が困難なことが多いです。それでも少しでも保護者の力になりたくて、できる限り対応しています。現場でしきれない仕事は家に持ち帰ってしています。もちろんサービス残業です。また、保育所内の経費に上限があるため、必要な材料を自己負担することも多いです。保育士も家庭がある方が多いです。家に帰れば母になり妻になり、一般的な家庭と変わらないはずなのに、仕事を持ち帰るしかないため保育士のスイッチもOFFにできません。保育現場で見直すところはたくさんありますが、まず保育士という仕事がどういったものか、子どもにとってどのような存在か、一度考えてみてはいかがでしょうか。保育士は親の代わりに育児をする者ではなく、子ども達一人ひとりの成長や年齢に合わせ、心と体の成長を助ける仕事です。

令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査 調査結果詳細 (潜在保育士)

女性	40歳代	5～9年	保育現場はとても閉鎖的で時代遅れ(会社として)の所が多い。園長、主任など役職についている人材こそ、多くを学ぶべき。
女性	30歳代	1～4年	園長によって園の雰囲気や方針が変わるのは、良い面もあれば、働きづらさもあると思う。トップに立つ人向けの研修や意識の共有、改革も必要だと思う。女性が多く、男性が入りにくい。ニュースでごく一部の男性保育士がする犯罪行為のイメージなどがあるが、活動量や力が必要なことは男性がいると助かることも多く、遊びもパワフルだったりするので、男性保育士が働き続けやすいように変えてほしい。
女性	40歳代	5～9年	幼稚園I種、保育士両方持ち、独身時代に経験(幼稚園勤務)を積み、子育てが一段落したので再度、一度パートで働きました。保育園でのパートでしたが、若い保育士ばかりで、スキルも保育士としての質も子ども達への扱いも悪く、驚きました。やる気があり働きたくても、パートでは掃除とパンツの交換がメインで、はっきり言って誰でもいい仕事。I種を取っていたので、希望でやりがい期待しましたが、がっかりの一言でした。園長は悪い人ではなかったが、現場は保育士だけで回っていたので、チェックしていなかった。どこもそうかはわからないが、保育士の質の低下というのは本当に感じた。賃金を上げ、きちんとした保育者を雇わないと、子ども達の未来がとても心配。
女性	40歳代	1～4年	保育士と介護士と経験しましたが、給与面でも仕事内容的にも改善が必要だと思う。
女性	50歳代	5～9年	県外の学生が地元に戻って実習が受けられるような受け入れ態勢が出来ていると良いです。私は県外の短大でしたが、卒園した園に実習のお願いをしたところ、「うちはしていません」と直ぐ電話を切られてしまいました。学生は色々な理由があり県外へ出る子もいると思うが、世話をしていた園が安心して実習に行きやすいと思うので、受け入れ態勢を考えてあげてほしいと思います。
女性	30歳代	0年	学生時の実習の時に行った保育園の先生方が、実習生のいる前で、休憩時間に、親や子ども・同僚の愚痴をずっと言っているのを見て、保育の現場で働く事が嫌になりました。閉鎖的な現場の雰囲気がトラウマで、保育現場に行こうとも戻ろうとも思えません。職場環境や人間関係の円滑化が大事だと思います。
女性	40歳代	20～29年	仕事にやりがいがある、子どもが好きだけでは保育士を続けられない現状を多くの人が知り、応援してくれるような世の中にならなければ、誰も保育士になりたいと思わないし、続けたいと思わない。
女性	60歳代	10～19年	保育士が誇りをもって働けるよう、民間への移行をせず各自治体が責任を持って給与の保証、同じ内容(パート)での賃金格差をなくし、チームとして保育に関われるよう制度を見直す。パートの方への研修も必要だと思います。
女性	40歳代	10～19年	このアンケートで少しでも改善されることを願っています。また、ただアンケートを取るだけでなく、現場の声にも耳を傾けてください。
女性	30歳代	0年	手作りの準備物(クラスの飾り、遊び道具)の廃止、市販のものに変える。手作りが良いという風土の改善。クラス便りの簡素化。昇給の仕組みの改善。薄給と言われるが、経験を積み給料も増えることがわかればモチベーションになる。
女性	30歳代	5～9年	クレマー、職員からのいじめなどで精神を病んだので、もう保育士なんてしたくない。今の世の中は、保育に対する理解も得られなくて、ボイスレコーダーの音がニュースで流れたり、SNSであることないこと書かれるので保育士はやりづらく、子どもを成長させるためよりも、親に怒られないように気を使うばかりで、働いていた頃は子どもと向き合えることができず辞めた。人員もたりていて、理念もしっかりしていて、対応のマニュアルがしっかりあり、何をすべきかの対応が職員によって変わることなく、働いている人で悪口を言いあわない、そんなところで働きたかった。純粋に子どもの成長を支えてあげる事はやりがいも持てて好きだったが、もう一生保育士にはなりたくない。
女性	50歳代	20～29年	自己評価のやり方の改善。上司からだけでなく職員から上司の評価をする項目があってもよいと思う。その意見を聞いてもっと環境がよくなるよう上司も職員も考えられると思う。働いている環境が良くなれば、楽しければもっと保育士が増えると思う。
女性	20歳代	5～9年	潜在保育士の再就職を狙って補助金等充実させているが、方向性が見当違いだと感じる。入り口を広げた所で長く続けられる環境でないため、経験の浅い人の割合が増え、保育の質が低下する。現場はひっ迫し、重大な事故や不適切保育が増える。月の初めに残業時間の調定を結び、月4時間程度で毎月申請される。それ以上はたとえしても認められない。子どものケガや忘れ物の対応等突発的な業務はサービス残業となる。
女性	50歳代	20～29年	保育士になる為に学校に行き、お金と時間をかけ資格を取得したが、現在、無資格で勤務する人が増えていることに疑問を感じる。保育教諭不足で無資格の保育士がいて助かることもあるが、有資格と無資格の業務で、できることできない事が明確でなく、何の為に資格をとったのかと思う事がしばしばあった。
女性	60歳代	5～9年	新人の保育士が入社しても、その人を指導するための人材がおらず、結局は他の人のする事を見て覚えることになってしまうことが多い。保育以外の雑用(掃除、消毒)が多く、保育士でなくても出来る仕事が負担となっている。

令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査 調査結果詳細（潜在保育士）

女性	30歳代	10～19年	私は公立保育園の保育士（正規職員）として10年勤めましたが、精神的につらく辞めてしまいました。新卒1年目の時に、臨時職員の方とクラス担任をした際は、いきなり主任となり大変だったのを覚えています。せめて最初の1年目くらいは、正職の先生と組んで指導してもらえるような環境だったら良かったと思います。せっかく希望を持って保育士となった新人保育士の育成は丁寧にしてあげてほしいと思います。
女性	30歳代	0年	実際に我が子が保育園に通う事で改めて大変な仕事だと感じています。給与や業務負担の見直しの他、もっと休暇を取りやすい職場でないと家庭や育児との両立は難しいと思います。まずは現在働いている職員の方々をもっと大切にしてほしいと思います。また、シフト勤務が複雑（大早番、早番、普通番、遅番、大遅番など）で毎日変化があるため、本人や家族もしんどい働き方だと思います。
女性	30歳代	0年	保育士は業務が大変な割に賃金が安いと思います。配置基準もギリギリでやる気のある人ほど辛くなる環境です。また、保育の方法は年々変わるのに、昔のやり方をずっと引きずる上司がいると人間関係も悪くなります。上の人間ほど研修を受け、風通しをよくすることが必要です。
女性	40歳代	0年	認定こども園、保育所で看護師として働いています。保育士の資格は持っているのですが子どもとの関わり方など役立つことも多くあります。保育士の方と働きながら特に感じるのは、保育士不足、重労働なのにもかかわらず給与が少ない事です。他県の友人に聞くと賃金の差に愕然とします。改善をお願いします。